

## 「平成30年 海難の現況と対策」修正のお知らせ

これまで掲載していた「平成30年 海難の現況と対策」に誤りがあったため、以下の箇所を修正の上、最新版に更新しております。

誤りがありましたこととお詫び申し上げます。

### 【修正箇所】

P 1 5

(1) 船舶事故（アクシデント）の文中

(誤) プレジャーボート 945 隻（50%）が最も多く

(正) プレジャーボート 949 隻（50%）が最も多く

P 3 1

a 水上オートバイの海難種類及び原因別発生状況の円グラフ

水上オートバイの海難原因別の割合（平成30年）の母数説明中

(誤) 水上オートバイ海難隻数 14 隻（平成30年）

(正) 水上オートバイ海難隻数 90 隻（平成30年）

P 3 4

(b) ミニボートの海難種類及び原因別発生状況の文中

(誤) 転覆が 23 隻（32%）で最も多く

(正) 転覆が 23 隻（27%）で最も多く

### 【問い合わせ先】

海上保安庁交通部安全対策課

首席海難調査官 小野 祐輔

電 話：03-3591-6361(内線 6501)